

総合計画及び地域創生戦略委員会での意見・提案等に対する回答・計画への反映等 【第9回委員会】

基本構想 第4章 計画の着実な推進に向けて (P36~P39)

No.	素案に対する質問	意見・提案等に対する回答・計画への反映等
1	<p>情報発信は今のタイミングでは重要であり、今こそ宍粟市の魅力を強く発信するべき。情報発信に対する責任ある部署、責任者を置き、行政側の組織としても最優先で手当てが必要。宍粟市の魅力が何かを把握しておかなければいけない。子育ての充実、地域医療の充実を先行して整えるなど地域の魅力を高めることも必要で、情報発信の仕組みを作れば良いというわけではない。受け手側の知りたいことを把握し、そこに訴えかけるようなプロモーションを考える必要がある。広い地域、層を対象にして調査機関等を活用し、移住希望者の掘り起こしを合わせてやっていく必要があると思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、情報発信について、SNS等の様々な広報メディアの活用はもとより、民間企業の活用及び市民からの情報発信の仕組みづくりが必要と考えます。また、効果的な情報発信を行うには、ニーズの把握によるターゲットの掘り起こしやブランドイメージを構築し、その情報を集約し庁内において共有することが重要です。</p> <p>本市では、今年度より、庁内の横断的なとりまとめ役として、交流促進に携わる職員を配置しており、連携、情報共有の強化を進めています。また、宍粟市に対する市内外の見方の分析や情報発信方法について、民間活力を活用した営業活動の検討を進めているところで、今年度中に進めていきたいと考えています。</p>
2	<p>生活しやすい、子育てしやすいことが重要だと思う。宍粟市では特定健診を地域ごとにやっていたということもあり、ワクチン接種の予約もスムーズだと聞いている。子どもの人数が少ないことで、少人数学級による手厚い教育なども、大きな市に比べると充実していると思う。子育てしやすいところをさらに進めながらPRしてほしい。</p>	<p>なお、素案については別紙資料①-2の3～4ページのとおり追記します。</p>
3	<p>生涯現役社会をまちづくりの目標とすることが重要であると思う。そのために働き手の意識、企業の意識をはじめ、社会全体の仕組みを変えていけるような複合的な施策を考えてもらいたい。</p>	<p>第4回委員会にて「生涯現役社会」について左記のとおりご意見をいただきました。意見に対する回答については以下のとおり回答をさせていただきましたが、素案への反映についてはお示しできておりませんでした。</p> <p>つきましては、素案について別紙資料①-2の4ページのとおり追記します。</p> <p>【第4回委員会での回答】 ご指摘を踏まえ、以下の事項を踏まえた内容で基本構想に反映します。 ①子どもから高齢者まで、すべての市民があらゆる場面で活躍することができる「生涯活躍社会」の実現をめざします。 ②市民一人ひとりが価値観やライフステージに応じて希望する暮らし方、働き方、学び方を生涯にわたって選択できるよう、健康づくり・介護予防の促進による体力向上や健康寿命の延伸を図ります。 ③経済的な自立だけでなく、ワークライフバランスの実現や社会とのつながりを保つことで生きがいを感じるなど、あらゆるニーズに応じた多様な働き方や雇用機会の確保を図ります。 ④生涯学習の充実、学んだ知恵や知識を地域社会に還元することなど、生涯を通じた学びの機会の確保を図ります。</p>
4	<p>将来の5年、10年先を考える上では、デジタル化、または、世間で言われるデジタルトランスフォーメーション(DX)を盛り込まないといけないのではないかと考える。デジタル化によってどういった業務プロセスの改善ができるのかということをも市独自で今から考えていかなければ、時代の流れに取り残されてしまう可能性がある。</p> <p>デジタル化が進みやすいような環境を整備することで、市外の方が安心して移住してくれるような環境の充実を図っていくことで、自然豊かで暮らしやすい今の時代に合った地域になっていくのではないかと考える。</p>	<p>総合計画及び地域創生戦略委員会の小委員会(3月18日開催)にて、デジタルトランスフォーメーション(以下、「DX」という。)に取り組むべきとのご意見をいただきました。</p> <p>本市としても、住みやすいまちづくりを進めていくためにもDXの推進は重要と考えており、今後の人口減少や高齢化社会等の課題に対する解決策として考えていく必要があります。今後は、市民サービスの向上につながるDXを検討のうえ推進していくとともに、利便性が高く安全・安心なデジタル社会の実現をめざしたいと思います。</p> <p>なお、素案については別紙資料①-2の4～5ページのとおり追記します。</p>

総合計画及び地域創生戦略委員会での意見・提案等に対する回答・計画への反映等 【第9回委員会】

基本構想 第4章 計画の着実な推進に向けて (P36~P39)

No.	素案に対する質問	意見・提案等に対する回答・計画への反映等
5		<p>新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークの普及など、生活のあらゆる場面でデジタルトランスフォーメーション（DX）が加速し、先端技術の活用による社会のあり方や仕組みの変革が進みつつあります。また、都市部からの地方移住等の促進によるワーケーション等も注目されている中で、「ポストコロナ社会への対応」についても基本構想部分に追記したいと考えます。</p> <p>なお、素案については別紙資料①-2の5ページのとおり追記します。</p>

基本施策15 子育て支援の充実（素案P75.76）

No.	素案に対する意見・提案等	意見・提案等に対する回答・計画への反映等
1	<p>めざすまちの姿について、「一体となり子育てを支える」となっているが、個別断片的な施策が列記されている。もっと関係する人達が一体となって子育てに関心を持っていくため、意識の醸成を進めていく施策が必要ではないか。</p>	<p>ご指摘のとおり、市民が子育て支援の重要性について関心や理解を深め、関係機関や事業者等が協働し、それぞれの役割を果たしていく協働意識の醸成が必要と考えます。</p> <p>本市では、関係機関等の連携など活動基盤の強化に向けた支援を行っていくとともに、市民に対する子育て支援の重要性についての情報発信を積極的に行い、子育てへの協働意識を醸成していきたいと考えます。</p> <p>なお、素案については別紙資料①-3、①-4のとおり追記します。</p>

基本施策20 地域医療の充実（素案P86.87）

No.	素案に対する質問	意見・提案等に対する回答・計画への反映等
1	<p>地域連携を進めるうえで、総合病院、在宅医、訪問看護ステーション等の連携はもちろんだが、①-3にある歯科医師会や他にも栄養士や薬剤師等との密な連携が大切になってくると考えられるので、記述の追加をお願いしたい。</p>	<p>本市では、宍粟市地域包括支援センターが事務局となって、宍粟市医師会・宍粟市歯科医師会・宍粟市薬剤師会等の医療関係団体等と連携して「地域包括支援センター運営協議会」や「宍粟市医療と介護の連携会議」を設置し、地域医療や介護サービス等の連携の仕組みや取組等について協議しております。今後はより一層の地域医療充実に向けて、医療関係団体等との連携を強化を図っていきたいと考えます。</p> <p>なお、素案については別紙資料①-5、①-6のとおり修正します。</p>